

大好きな場所は戦場跡

読谷中学校一年 仲井間 恋音

あなたは、地域に気に入っている場所やよく友達と行って遊ぶ公園などはありますか。もし、このような場所に悲惨な戦争が起こったならばどう思いますか。

今年6月、また当たり前かのように平和のことを考える。平和週間がきました。戦争と平和。この全く違うワードについて考えるのです。

私は学校で平和学習の時に配布された新聞を見て、衝撃を受けました。

それは第一に特集されていた、身近な場所に米軍隊の足跡と強調されていた内容に、座喜味城も米軍機から激しい攻撃を受けていました。座喜味城に駐屯した日本軍に低空飛行攻撃をしている米軍と、鉄砲で立ち向かう日本軍のイラストが掲載されていました。

そんな大げさな内容かと思う人もいるかも

しれ夫せんが、私にとつて座喜味城は小学校
の遠足や夜のライトアップがきれいな場所だ
しかなないので。遠足で友達と輪になつて弁
当を食べて座つているところに爆弾や死体が
あつたと考えると、こんな身近に戦争があつ
たのかと、恐怖を感じます。

私かいい思い出に映る座喜味城跡も、戦争
体験者から見れば、目にも映つてほしくない
場所になつているのでしようか。座喜味集落
には今も日本軍が飛行機を収納する格納庫や
掩体壕も残つています。

あなたには、好きな場所や思い出に残つて
いる地元風景がありますか。もし、その場
所が七十六年前、戦場だつたことを考えると
どう思いますか。戦争は昔の話でもありませ
んが、いつもとても身近にあるものだと思いま
す。

私の地元読谷村は米軍の上陸地。戦場だし
た。七十六年たつた今でも爪痕を残したグマ
の跡、それを体験した体験者の話、畑を耕し

ては骨がでてくることもあると聞きました。
私はいま、好きなことかでき、希望がもて
る世の中に生きています。七十六年前に戦争
があ、たという事実を残す身近な戦争のあと
から、私はいまが平和である意味を、かり
考えていこうと思ひます。